

「丹波市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」 ∞ 令和5年度 進捗状況報告（令和4年度実績） ∞

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第15項に基づき、平成30年度に策定した『丹波市地球温暖化対策実行計画（第三期実行計画）～事務事業編～』の進捗状況を報告、公表します。この報告書は、実行計画に定める数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガスの排出抑制を行うことで、地球温暖化対策に取り組んでいくことを目的に作成しています。

☆計画の概要☆

◎計画の基準年：平成25年度

◎実行計画期間：令和元年度～令和5年度（5年間）

◎調査対象施設：庁舎を含めた公共施設

◎基準年の温室効果ガス総排出量 **20,881t-CO₂**

☆行政活動起源 17,201t-CO₂

☆廃プラスチック起源 3,680t-CO₂

★削減目標★ 2023年度までに基準排出量
(20,881t-CO₂) に対し 21.2% (4,434t-CO₂) 削減

☆令和4年度温室効果ガス排出状況☆

◎温室効果ガス総排出量 **15,072t-CO₂**

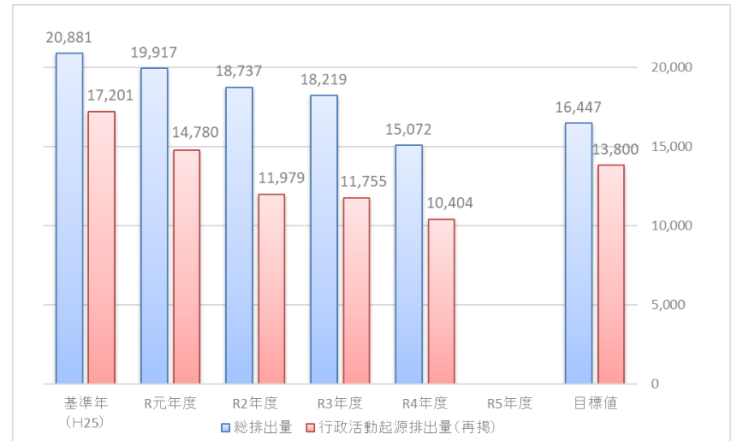
☆行政活動起源 10,404t-CO₂

☆廃プラスチック起源 4,668t-CO₂

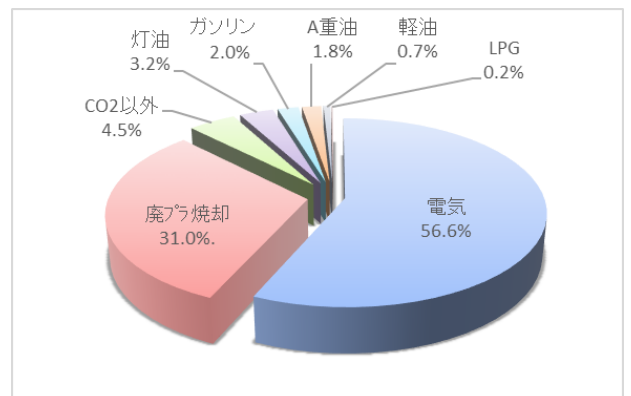
【計画で対象となる温室効果ガス】4種類
・CO₂（二酸化炭素） ・CH₄（メタン）
・N₂O（一酸化二窒素） ・HFC（ハイドロフルオロカーボン類）

●温室効果ガス排出量の推移

（単位：t-CO₂）



●温室効果ガス排出源構成（R4実績）



◎令和4年度温室効果ガス総排出量

排出量は 15,072t-CO₂ となり、基準年の排出量 (20,881t-CO₂) に対して 5,809t-CO₂ (27.8%) の削減ができました。

これは、排出量の大半を占める電力の CO₂ 排出係数（電力消費量当たりの CO₂ 排出量）が改善したことによるものです。

◎プラスチック製品起源の温室効果ガスを減らすことが課題

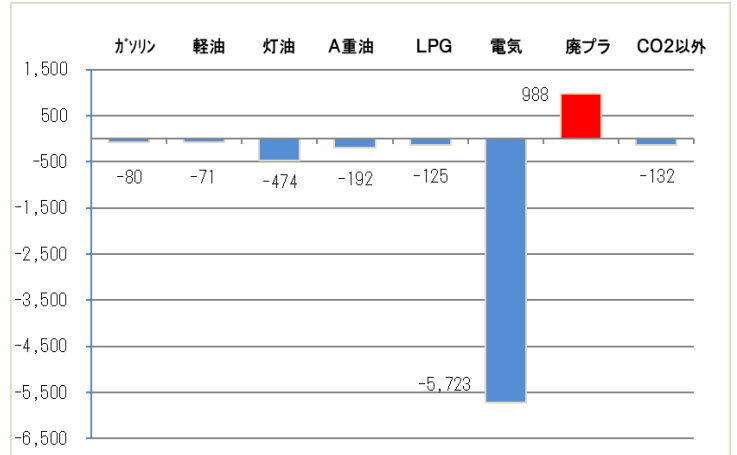
行政活動起源の温室効果ガスの排出量は、削減目標を達成することができましたが、廃プラスチックの焼却により発生する CO₂ は、基準年より増えています。

令和6年度からは、容器包装プラスチックだけでなく、プラスチック製品の分別回収が始まります。

温室効果ガス排出量の削減のため、市民の皆様のご協力をお願いします。

●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況（単位：t-CO₂）

項 目		H25年度 (基準年)	令和4年度		
		排出量	排出量	増減	比較
燃 料	ガ ソ リ ン	356	276	-80	-22.5%
	軽 油	171	100	-71	-41.5%
	灯 油	963	489	-474	-49.2%
	A 重 油	500	308	-192	-38.4%
	L P G	152	27	-125	-82.2%
電 気		14,246	8,523	-5,723	-40.2%
廃プラスチック焼却		3,680	4,668	988	26.8%
CO ₂ 以外の温室効果ガス		813	681	-132	-16.2%
温室効果ガス全体		20,881	15,072	-5,809	-27.8%



温室効果ガス削減に向けての今後の課題

行政活動による排出量は、毎年減少しています。本市では、令和4年12月に『丹波市ゼロカーボンシティ宣言』を表明しました。国の示す2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを実現するためには、職員の省エネの取り組みだけでなく、照明設備のLED化や高効率な業務用機器の更新、太陽光発電等のクリーンエネルギーの導入など、先導的な取り組みが必要です。